

2023年7月13日

株式会社博報堂DYホールディングス

**博報堂DYホールディングス、量子ゲート型コンピュータの
広告・マーケティングデータ活用における第一弾実証を実現****-blueqat社と協力し探索研究を推進、最適化アルゴリズムの開発および実機での動作を確認-**

株式会社博報堂DYホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）の研究開発部門マーケティング・テクノロジー・センターは、将来的な量子コンピュータ時代の到来を見据え、広告・マーケティング領域における量子コンピュータの活用可能性を模索してきましたが、今般、量子ゲート型コンピュータの活用に向けた長期的な探索活動に着手いたしました。その取組みの第1弾として、量子コンピューティングを提供するblueqat株式会社（東京都、代表取締役社長：湊雄一郎）と協力し、マーケティングでも活用が進むデータフュージョンを実現する上で重要な最適輸送問題に適用できる量子ゲート型アルゴリズムの開発、および、量子ゲート型コンピュータ実機での動作を確認しました。

現代社会において、様々な分野で膨大な量のデータが生成され、それらの活用が求められています。データ活用を最適化するためには、分散管理された様々なデータを統合するデータフュージョンを実施することで、個別のデータのみでは分からない知見を得られる可能性が高まります。

データフュージョンには、いくつかの方式が存在しますが、今回対象としたのは、最適輸送問題を解く方式です。この最適輸送問題に適用できる量子ゲート型アルゴリズムを開発し、IonQ社の量子ゲート型コンピュータ実機やNVIDIA社が開発した量子ゲート型シミュレータ（cuQuantum）でも最適解が得られることを確認しました。

今後も、博報堂DYホールディングスは、長期的な観点に立ち、広告・マーケティング領域における量子コンピュータの活用可能性を探求し続けます。この取組みを通じ、将来的な量子ソリューション開発に必要なノウハウを蓄積していきます。

博報堂DYホールディングスとblueqat社の共同成果は[こちら](#)（quantum business magazine）

本件に関するお問い合わせ

株式会社博報堂DYホールディングス グループ広報・IR室 平原・中田・白川

03-6441-9062 koho.mail@hakuhodo.co.jp